競技注意事項

1. 競技規則について

本競技会は、2026 年度日本陸上競技連盟競技規則、2026 WA COMPETITION AND TECHNICAL RULES(抗議)、競技会における広告および展示物に関する規程および本競技会の申し合わせ事項により実施する。

競技場内で着用できる衣類と持ち込める物品について

「競技会における広告および展示物に関する規程」〔国内〕により、競技場内で着用できる衣類等に掲出できる製造会社名/ロゴ、スポンサー名/ロゴの大きさ、数については下記のとおりであるので事前に確認しておくこと。違反している場合、テープ等で隠せる場合はマスキングで対応し、そのほかの場合は使用禁止または裏返して着用するように指示する。

アスリートキット

(1) 競技用の衣類（トップス、ベスト、パンツ、レギンス等)、ウォームアップ用の衣類、セレモニーキット、トラックスーツ、Ｔシャツ、スウェットシャツ、スウェットパンツ、レインジャケット

〇上衣　下衣　（それぞれ）

・製造会社名/ロゴ：一箇所　40 ㎠まで（最大高さ 5 ㎝･最大長さ 10㎝）

※場所は問わない

・スポンサー名/ロゴ：二箇所　40 ㎠まで（最大高さ 5 ㎝･最大長さ 10㎝）

※上衣、下衣ともに全く同一の表示でなければならない

・学校名/ロゴ：上衣 前後　各一箇所（大きさは問わない）　下衣 一箇所（大きさは問わない）

(2) 競技者が着用するその他のキットや衣類（靴下、ヘッドギア、帽子、ヘッドバンド、手袋、アームバンド等）

・製造会社名/ロゴ：　（一つに）一箇所　10 ㎠まで（最大高さあるいは長さ 4㎝ まで）

・学校名/ロゴ、都道府県名/ロゴ：　一箇所（大きさを問わない）

※ただし、メガネおよびサングラスについては二箇所表示することができる。

個人の所有物およびアクセサリー

(1) タオル、バッグ

・製造会社名/ロゴ：一箇所　40 ㎠まで（最大高さ 5 ㎝･最大長さ 10 ㎝）

・アスリートスポンサー名/ロゴ：二箇所　40 ㎠まで（最大高さ 5 ㎝･最大長さ 10 ㎝）

※アスリートスポンサー名/ロゴのうち一つを、あるいは、競技者名または個人的なソーシャルメディアハッシュタグを、所属団体名/ロゴまたは学校名/ロゴにできる（高さ 5㎝ まで、長さ制限なし)。

(2) 飲料ボトル

ペットボトルを持ち込む場合はラベルをはがすこと。

(3) 医療用テープ/一般的なテープ（商品名/ロゴの表示あり）

製造会社名/ロゴ：10 ㎠まで（1 枚につき）

2. 練習について

別紙【練習に関する注意事項】を参照

3. TIC について

TIC は本競技場 100m スタート側のマラソンゲート（招集所横）に設置する。開設時間は下記のとおりとする。

期　　日	開設時間
9 月 4 日(金)【大会前日】	15 時 00 分～17 時 30 分
9 月 5 日(土)～9 月 7 日（月)【大会期間中】	6 時 45 分～閉門時刻まで

※閉門時刻については【申し合わせ事項】1. 開門時刻および閉門時刻についてを参照のこと。

参加校受付

参加校受付は、TIC にて上記開設時間に行う。アスリートビブス・プログラム・ID カードを配付するので（数量等を確認し)、チーム代表者が一括で受け取ること（その後の追加発行は行わない)。

各種書類について

大会期間中の各種書類の配付および提出は TIC を窓口とする。

主な提出書類：欠場届、重複出場届、リレーオーダー用紙、質問・抗議受付用紙、持ち込み投てき器具検査申請書、記録証明書申込用紙

主な配付書類：記録証明書、第 4 位から第 8 位までの賞状、スポーツ安全保険事故報告書

4. 招集について

(1)招集所は、本競技場 100m スタート側のマラソンゲート付近に設置する。

(2)種目別、組別の招集完了時刻は、プログラムの競技日程に記載のとおりとする。

(3)招集完了時刻は招集所備え付け時計を基準とする。**招集完了時刻に遅れた競技者は、その種目を欠場するものとみなす。**

(4)招集の方法は、次のとおりとする。

①競技者は、**招集完了時刻までに招集所に集合し、**競技者係から腰ナンバー標識(トラック競技に出場する競技者のみ)および荷物運搬袋を受け取り、当該種目に出場する競技者本人が点呼を受け、下記のチェックを受けること。なお、**招集は招集完了時刻の 10 分前から開始する。**

・アスリートビブスを付けたユニフォーム

・競技靴およびスパイクピン

・持ち込み衣類、持ち込み物品

・所有物の商標のチェック

その後、競技役員の指示に従い、競技実施場所へ移動する。

②競技規則 TR6.3.2 に記載の機器および通信機能を有する機器を招集所からミックスゾーンまでの競技区域内に持ち込むことはできない。違反した場合は助力を受けたものとして警告・失格の対象となる。ただし、フィールド種目に出場している競技者に対して、録画映像を提供する者のすぐ近く（コーチング エリア近辺）であれば、録画した機材（ビデオ装置・携帯電話等）を競技者自身が手に取り、操作して確認することが認められる。しかし、競技者自身が録画機材等を招集所から持ち込むこと、コーチングエリア近辺での映像確認後に競技場所等へ録画機器を持ち込むことは禁止とし、警告・失格の対象となる。

③同時進行種目への出場競技者は、招集を受けられない種目の招集完了時刻までに、「重複出場届」に必要事項を記入し、TIC に提出する。

④リレー競技では TR24.10〔国際〕を適用し、リレー・チームのメンバーは、どのラウンドにおいてもその競技会のリレー競技または他の種目に申し込んでいる競技者であれば、誰でも出場することができる。最初のラウンドに出場した競技者は、その後のラウンドを通して、最大 2 名まで他の競技者と交代することができる。また、TR24.13〔国際〕を適用し、オーダー用紙の提出は各ラウンドにおける各組の招集完了時刻までとする。

(5)棒高跳の招集は競技開始 60 分前から競技実施場所にて行う。競技実施場所には TIC から入場すること。

5. 欠場について

やむを得ず本競技会への出場を辞退する場合は、次の要領で「欠場届」を提出する。

(1)9 月 3 日(木)までは、本連合ＨＰ(https://www.iuau.jp/)に掲載してある「欠場届」に必要事項を記入し、FAX (03-5304-5569)で提出する。

(2)9 月 4 日(金) 以降は、TIC に用意してある「欠場届」に必要事項を記入し、TIC に提出する。やむを得ず、 TIC に提出できない場合は FAX(03-5304-5569)で提出する。

6. アスリートビブスについて

(1)アスリートビブスは、参加校受付の際に 1 名につき 2 枚配付する。

(2)アスリートビブスは、そのままの大きさで胸と背に確実につける。ただし、跳躍競技に参加する競技者は、胸または背だけでもよい。

(3)トラック競技に出場する競技者には、腰ナンバー標識(2 枚)を招集時に配付する。ただし、5000m・5000mW ではトランスポンダー付きの腰ナンバー標識を使用する。トランスポンダー付きの腰ナンバー標識は左腰に、通常の腰ナンバー標識は右腰につけること。トランスポンダー付きの腰ナンバー標識はレース終了後に回収する。

(4)アスリートビブスの布地および数字の色は次のとおりとする。

①男子　『黄色地×黒数字』

②女子　『ピンク地×黒数字』

③5000m、5000mW　『白地×黒数字』

※5000m・5000mW で使用する特別アスリートビブスは、当該種目の招集完了時刻 60 分前から TIC にて 1 名につき 2 枚配付する。

その際、**大学受付時に配付したアスリートビブスを持参すること**。また、招集は特別アスリートビブスをつけた状態で行う。

④十種競技および七種競技『白地×黒数字』

※十種競技および七種競技では最終種目のみ特別アスリートビブスを配付するので、混成競技係より受け取ること。

7.　用具について

(1)本競技会で使用されるシューズについては、WA:C2.1A　Athletic Shoe　Regulations を適用する。WA のシューズリストを参照のこと。
なお、サークルから行われる投てき種目（砲丸投、円盤投、ハンマー投）は、適用対象から除外する。
WA LIST OF APPROVED ATHLETIC SHOES SHOE CHECKER (URL) https://certcheck.worldathletics.org/FullList

(2)棒高跳用のポールは、各自が持参したものを使用する。
ポールの保管場所は 200m スタート付近の 3 ゲート内とし、持ち込む際は TIC から入場すること。

(3)その他の競技に使用する用具は競技場備え付けのものを使用する。ただし、投てき競技で、個人所有の投てき物の使用を希望する場合には日本陸連検定品かつＷＡ認証品に限り(4)に従い、主催者の検査を受け使用を許可されたものに限り使用できる。

(4)個人所有の投てき物（一人 2 個まで）を使用する場合、事前に本連合 HP に掲載してある申請書に必要事項を記入し、**砲丸およびやりならびに混成競技の投てき物は TIC** に、**円盤およびハンマーは付帯投てき場器具庫**に、それぞれ下表の時刻を参照して提出すること。検査を経て合格した投てき物に、主催者の用意するシールを貼るので、競技終了まではがしてはならない。この場合、個人所有の投てき物についてはルールに基づき、他の競技者との共用になる。

TIC 持ち込み時刻（砲丸・やり・混成投てき・女子円盤投）					
9 月 5 日(土)		9 月 6 日(日)		9 月 7 日(月)	
種目	持ち込み時刻	種目	持ち込み時刻	種目	持ち込み時刻
十種砲丸投	8:10～8:30	十種円盤投	8:10～8:30	男子砲丸投	11:25～11:45
女子砲丸投	16:00～16:20	十種やり投	8:10～8:30	七種やり投	8:05～8:25
男子やり投	16:35～16:55	七種砲丸投	8:40～9:00	女子円盤投	12:15～12:35
		女子やり投	14:30～14:50		
付帯投てき場器具庫持ち込み時刻（円盤・ハンマー）					
9 月 5 日(土)		9 月 6 日(日)		9 月 7 日(月)	
女子ハンマー投	8:45～9:05	男子円盤投	11:10～11:30		
男子ハンマー投	12:40～13:00				

(5)個人所有の投てき物の返却は持ち込み場所と同様の場所で行う。各競技終了後～各競技終了後 30 分以内に返却を受けること。なお、実施場所から許可なく器具を持ち帰ることは禁止とする。

(6)個人所有の用具の破損に関して、主催者側は一切の責任を負わない。

8.　競技について

(1)トラック競技について

①トラック競技における招集完了時刻後の練習は、すべて競技役員の指示に従う。

②短距離種目では、衝突事故を防止するため、フィニッシュライン通過後も自分の割り当てられたレーンを走る。

③5000m、5000mW は、給水およびスポンジの設置を行う。また、気象条件により氷を用意する場合がある。
なお、給水は全て紙コップで行う。スポンジや氷は身体にかける用途でのみ使用可能とする。

④5000mW においては、競歩審判員主任による単独失格権限ルール（TR54.4.1）を適用する。

⑤長距離種目において、競技中何らかのアクシデントで選手の競技を中止させたい場合、各チームの責任者は大会本部へ連絡すること。

(2)フィールド競技について

①フィールド競技における(棒高跳を除く)招集完了時刻後の競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。

②**棒高跳の競技場所での練習は競技開始 100 分前から行うことができる。また、バーをかけた練習はゴム製バーを用いて行う。**

③走高跳および棒高跳のバーの上げ方は原則として次のとおりとする。

種目・種別		練　習	1	2	3	4	5	以　降
走高跳	男子	2m00 2m10	2m05	2m10	2m13	2m16	2m19	＋ 3 ｃｍ
	女子	1m60 1m70	1m65	1m70	1m75	1m78	1m81	＋ 2 ｃｍ
棒高跳	男子	5m00 5m20 5m40	4m90	5m10	5m20	5m30	5m40	＋ 5 ｃｍ
	女子	3m60 3m80 4m00	3m50	3m70	3m80	3m90	4m00	

④三段跳の踏切板の位置は、男子 13m、女子 10m とする。

⑤投てき競技の競技場内での練習は、1 回につき 60 秒以内とする。

⑥投てき競技の計測は、光波距離測定装置を使用する。ただし、砲丸投の計測は鋼鉄製の巻尺を使用する。

(3)混成競技について

①招集は、各日最初の種目に限り招集所にて行う。それ以後の招集は行わないので、混成競技者は次の種目から混成競技控室にて待機し、競技役員の指示に従う。

②混成競技における招集完了時刻後の競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。

③混成競技控室を設ける。場所は諸室図を参照のこと。

なお、**該当種目の競技者および競技役員以外の混成競技控室への立ち入りは一切禁止とする。**

④跳躍種目について、七種走高跳は 1 ピット、それ以外の種目は 2 ピットで実施する。

⑤走高跳および棒高跳のバーの上げ方は原則として次のとおりとする。

種目・種別			練　習	1	2	3	4	5	6	以　降
十種競技	走高跳	低	1m62 1m74	1m65	1m68	1m71	1m74	1m77	1m80	＋ 3 ｃｍ
		高	1m71 1m83	1m74	1m77	1m80	1m83	1m86	1m89	
	棒高跳	低	3m40 3m80	3m40	3m50	3m60	3m70	3m80	3m90	＋10ｃｍ
		高	3m80 4m00	3m80	3m90	4m00	4m10	4m20	4m30	
七種競技	走高跳		1m37 1m49 1m61	1m40	1m43	1m46	1m49	1m52	1m55	＋ 3 ｃｍ

⑥原則として最初の高さは変更しないが、天候等の理由により変更を希望する場合は審判長に申し出て、指示に従うこと。

(4)競技結果と番組編成について

①各種目の結果の正式発表は大型スクリーンにて行う。

②800mの番組編成に関しては、TR20.3.2〔国際〕を適用する。

③記録で次のラウンドに進む競技者の決定について、同記録の競技者がいる場合は、TR21.2 を適用する。

④競技結果等は記録処理終了後、随時、本連合 HP にて発表する。競技結果および準決勝以降の番組編成リスト等は各自で確認すること。

ＰＣ用サイト　https://www.iuau.jp/　　スマートフォン用サイト　https://www.iuau.jp/sp1/index.html

(5)その他

競技規則を厳格適用し、CR18.5 および TR7.1 の適用により警告を 2 回受けた競技者は失格となり除外処分対象となるので、この競技会における以後のすべての種目に出場できなくなる。

9.　抗議と上訴について

競技結果の正式発表時間は大型スクリーンに発表された時間を基準とする。競技の結果または競技進行中に起きた競技者の行為に関する抗議は、競技結果が大型スクリーンに発表されてから、競技規則に定められた時間内に、その競技者または代理人が TIC に申し出た後、担当総務員を通して審判長に対して口頭で抗議を行う。その時、該当審判長から説明を受け、裁定が提示される。さらに、この裁定に不服な場合は預託金(**2 万円**)を添え、競技規則に定められた時間内に、その競技者または代理人が担当総務員を通してジュリーに文書で申し出る。なお、抗議については、TR8.5〔国際〕を適用し、競技エリアで競技者本人から当該審判長が抗議を受け付け、裁定する場合がある。フィールド競技の判定に対して競技者自身が異議のある場合には、直ちに該当審判長に申し出ることができる。

10.　ドーピング・コントロール・テストの実施について

(1)本競技会は、WA アンチ・ドーピング規則および規程、もしくは日本アンチ・ドーピング規程に基づく競技会（時）ドーピング検査対象大会である。競技会（時）検査は、大会前日 23 時 59 分から検査が終了するまでの期間であり、尿または血液 （あるいは両方）の採取が行われる。検査の対象に選ばれた該当者は、検査員の指示に従って検査を受けること（競技/運動終了から 1 時間の安静後に採血が行われることもあるので留意すること）。

(2)競技会（時）検査の対象となった場合、原則として顔写真付きの本人確認書類が必要となる。大会の ID カードやアスリートビブスとともに、顔写真のついた学生証、運転免許証、マイナンバーカードまたは顔写真が鮮明なパスポートのコピー等を持参すること。

(3)本競技会参加者は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程に従い ドーピング検査の対象となることに同意したものとみなす。したがって、本競技会参加者 はドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否または回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。

(4) 本競技会参加者は、JADA クリーンスポーツ・アスリートサイト（https://www.realchampion.jp)等を利用して、アンチ・ドーピングについて事前に学習しなければならない。また本競技会においては、希望者が自由に参加可能な「アウトリーチ・プログラム」を実施し、アンチ・ドーピングについて学ぶことのできる機会を設けるので、ふるって参加されたい。

(5) TUE 申請

禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない 競技者は“治療使用特例(TUE）”の申請を行わなければならない。詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会の HP（http://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical/）または日本アンチ・ドーピング機構の HP（https://www.realchampion.jp/resources/000162.html）および本連合 HP（http://www.iuau.jp/index.html/）内の「知っておきたいアンチ・ドーピングの知識 2026 年版」を確認すること。禁止物質・禁止方法について TUE が付与されている場合には、その証明書（コピーで可）をドーピング検査の際に担当検査員へ提出すること。

11. 対校得点について

(1)対校得点は各種目、第 1 位が 8 点、第 2 位が 7 点、第 3 位が 6 点、第 4 位が 5 点、第 5 位が 4 点、第 6 位が 3 点、第 7 位が 2 点および第 8 位が 1 点とする。なお、同順位により対校得点を割る場合には小数計算（小数点以下 2 桁まで）を行う。その計算は記録センターで行う。

(2)対校得点が同点の場合、優勝種目数の多い方を上位とする。(優勝種目数が同数であれば、第 2 位入賞種目数の多い方を上位とする。以下 8 位まで同様。第 8 位入賞種目数まで同じ場合は、同順位とする。)

12. 表彰について

(1)総合・トラック・フィールド・混成の男女各部門において対校得点による順位が最上位であった大学には、閉会式にて賞典を授与する。

(2)男女各種目において第 1 位に入賞した競技者が最も多かった大学には、閉会式にて賞典を授与する。

(3)男女総合優勝校から各 1 名ずつ最優秀選手を選出し、閉会式にて SMBC 賞を授与する。

(4)各種目の第 1 位から第 3 位までに入賞した競技者には、メダルと賞状を表彰式で授与する。競技終了後、速やかにエントランスホール内の表彰対象者待機場所に集合すること。

(5)男子十種競技の表彰は **9 月 7 日（月）9 時 30 分頃**より実施する。

(6)表彰式の際の服装について､上衣は待機場所で配付するプレゼンテーションビブスをつけた公式 T シャツあるいは公式ジャージを着用し、下衣は公式ジャージを着用すること。

(7)第 4 位から第 8 位までに入賞した競技者には賞状を授与するので、TIC にて受け取ること。

(8)総合・トラック・フィールド・混成の男女各部門において対校得点による順位で第 1 位から第 8 位までに入賞した大学には賞状を授与するので、TIC にて受け取ること。

(9)各種目の第 1 位から第 3 位までに入賞した競技者には、表彰待機中にスポーツファーマシストによるアンチ・ドーピングアウトリーチを行う場合がある。該当者は積極的に参加をすること。

13. その他

(1)ID コントロールを実施するので、配付した ID カードは常に携帯し、**大学名および氏名を必ず記載すること。**

(2)スタートとフィニッシュの場所が異なるトラック競技では、招集所で配付された荷物運搬袋に入れられた衣類等をフィニッシュ地点付近まで競技役員が運搬する。

(3)競技終了後、必ずミックスゾーンを通過し、主催者が許可した報道関係者の取材を受けること。また、表彰式終了後もインタビューを受けることがあるので協力すること。

(4)大会期間中の貴重品の管理は各自で行うこと。盗難および紛失に関して、主催者は一切の責任を負わない。なお、大会期間中に主催者に届けられた物品等については、一時的に TIC または観客窓口で保管する。届けられた忘れ物については、大会終了後 1 週間を目安に処分する。

(5)**本競技場での競技運営に関すること以外での芝生への立ち入りは一切禁止とする。**

(6)競技中に発生した傷害および疾病等についての応急処置は主催者において行うが、それ以後の責任は一切負わない。ただし、2026 年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。必要な競技者は TIC において、スポーツ安全保険の事故報告書を受け取ること。

(7)救急車等の緊急車両を手配する事態が起こった場合、一刻を争う事態でない限り大会本部および競技場側の許可なく手配しないこと。手配を希望する場合、大会本部が車両の手配を行うので、その際は、詳細を含め大会本部に連絡すること。

(8)その他、競技に関する質問・抗議、大学待機場所・ポール輸送などに関するお問い合わせは TIC に問い合わせること。